

# 原っ子だより

学校通信 第13号  
令和3年12月23日  
文責 校長 徳本ひとみ



**保護者の皆様のご協力やご支援をいただき  
ありがとうございました。**

今年も学校の教育活動は常に新型コロナウイルスの感染状況を注視しなければなりませんでしたが、様々な制限の中で、保護者の皆様は子供達のために出来る協力をしようといつも考えて下さいました。おかげさまで子供達の笑顔もコロナ禍以前の輝きを取り戻したような気がします。

## 【12月のたなぼた絵本会と朝の街頭指導】



季節に合ったお話やほっこり心温まるお話に、子供達は大喜び



本校の子供達が  
落ちているの  
は、こうしたご協  
力のおかげです。

## 小中一貫教育の取組の一端を紹介します

呉市では平成19年度から全中学校区が義務教育9年間（4・3・2区分）を通して小中が一貫した教育（小中一貫教育）を行っています。今年度もコロナ禍の中、制限される活動も多々ありましたが、感染状況を見ながら、本校も、少しずつ小中一貫教育に関わる活動を行ってきました。

4年生は9年間の中の最初の区切り、前期の最終年にあたり、従ってこの年に2分の1成人式を行う学校が多いです。原小学校も3学期にこの式を行います。その事前の学習として、将来の夢や職業について考え、学習発表会で発表しました。この発表には人生の先輩であり4年生の保護者でもあるお二方、栗原孝幸様と大谷司様のお話がとても参考になりました。

## 【総合的な学習の時間 「将来の夢の参考になることを見つけよう」 4年生】



### 子供たちの感想から～一部抜粋～

- ・質問をした時、「笑顔でいること」と答えられた時、「すごくすてきななあ」と思いました。
- ・私はお話を聞いてたくさんメモを取りました。
- ・お忙しい中ありがとうございました。編集がすごくわかりやすかったです。
- ・私は歯医者さんという仕事に興味を持っているので目指したいと思いました。

- ・案内をする時、その時の状況で言うことを変えるという事が心に残っています。
- ・自分の将来の夢の参考になることがわかってよかったです。

本校児童にとって貴重な経験となりました。お忙しい中本当にありがとうございました。



